

平成25年度病害虫発生予察 警報 第1号

平成25年9月4日
長崎県病害虫防除所長

病害虫名 トビイロウンカ

作物名 普通期水稻

トビイロウンカについては、平成25年8月19日付けで注意報を発表しましたが、その後も発生が多い状況です。

現在の発生状況では坪枯れの発生が多くなると予想されるため、9月上中旬に株当たり成虫・老齢幼虫を5頭以上認めた場合には早急に防除するようお願いします。

1. 発生地域(対象地域) 県内全域

2. 発生程度 多

3. 警報発令の根拠

- (1) 8月下旬の巡回調査(72筆)の結果、発生圃場率は81.9%(平成24年 31.5%)、株当たり虫数は2.1頭(平成24年 0.2頭)と非常に多かった(図1, 図2)。坪枯れが多発した平成21年、24年よりも虫数の増加が早く、株当たり虫数、発生圃場率ともに過去10か年で最も高かった。特に早植え圃場での密度が高かった。また、8月下旬の要防除水準である株当たり1頭を越える圃場も多くみられた(表1)。
- (2) 8月6半旬(8月26日)の県予察圃場(諫早市、無防除)調査の結果、株当たり虫数は2.6頭(過去7カ年平均 0.9頭)で、成虫および中齢幼虫主体であった。寄生株率は78%(過去7カ年平均 39.2%)であった。また、増殖力の高い短翅雌率が91.1%であった。
- (3) 坪枯れの発生も各地で確認され始めている。
- (4) 平成25年8月30日発表の1か月予報によると、向こう1か月の気温は平成並または高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

4. 防除対策

- (1) 9月上中旬に株当たり成虫・老齢幼虫を5頭以上認めたら早急に防除する。
- (2) 本虫の発生は圃場間や同一圃場内でも偏りが大きい。このため、防除を行った圃場でもその後の発生状況に十分注意し、防除効果の確認を行うとともに必要に応じて追加防除を行う。
- (3) 本虫は株元を好んで寄生するので、薬剤散布は株元に薬剤が十分に付着するように丁寧に行う。
- (4) すでに坪枯れが発生している圃場では被害の拡大を防ぐため早急に防除する。また、多発生圃場で水稻が収穫可能な時期に達している場合はできるだけ早めに刈り取る。
- (5) 収穫時期が近いので、薬剤の散布時期に注意し使用基準を厳守する。また、周辺環境を十分に確認し、ミツバチも含め周辺動植物等への飛散などによる影響がないよう十分注意する。

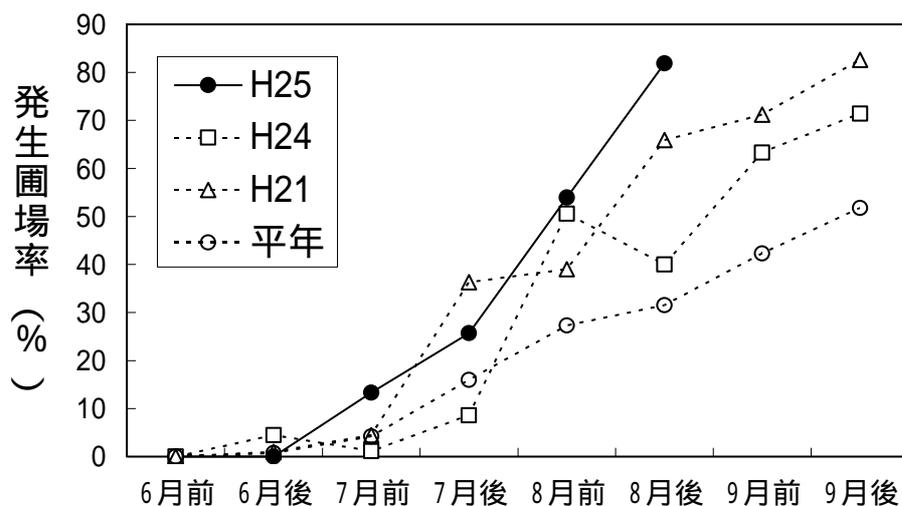


図1 発生圃場率の推移

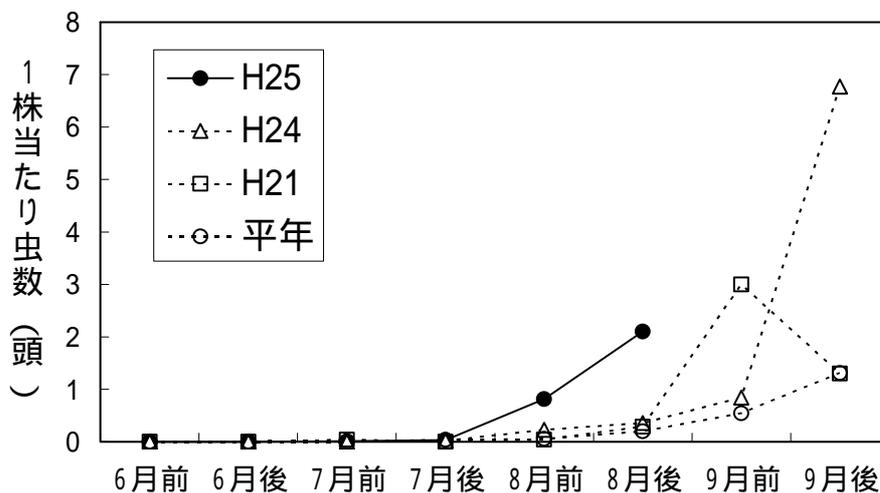


図2 1株あたり虫数の推移

表1 普通期水稻72圃場におけるトビイロウンカの発生状況調査
(平成25年8月26~29日調査)

発生程度	トビイロウンカの株当たり虫数				
	0	0~1未満	1~5未満	5~20未満	20~
圃場数	13	41	11	4	3
(圃場率%)	(18.1)	(56.9)	(15.2)	(5.6)	(4.2)

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnp.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027